

今、いろんな情報はインターネットによ
って取得し、新聞や雑誌などさげる情報が
すくない。と感じてる。インターネットが海
のように幅広い情報の集まるところで、一ろ
で、新聞と雑誌がコップの水のようなものだ。
しかし、私たちはそんなに多い情報を含
める「海」で渴いてしんちゃたかとも思う。なぜ
渴いてしんちゃたのかとえインターネット
によったいろんな情報がさがしでまても、そ
んなに多い情報は私たちにとって必要がない
かもしれない。そのほか、インターネットの
速さのゆえに、情報をさがすことといい、情
報を伝布することといい、易いだ。しかも、
情報の偽装、改ざんの可能性が幅広く増すと
も。だから、いろんな情報があって「海」のよう
なインターネットで、必要がなくして偽装な情
報をさがしてしまうことは水を得ないような
状況だと思った。なお、インターネットは誰
でも使えることで、新聞と雑誌とより、情報
を書きやすくして情報を流す責任をとる人もな

い。だから、インターネットしか見なかつた
ら、ますますインターネットに支配されてイ
ンターネットのことひとすじに信じて理性を
失うという「インターネットの罠」に落ちる恐れ
があると思った。新聞と雑誌に不正で偽装な
情報をのせることもあるとしたら、その情
報を伝布した人が責任を取るはずで、インタ
ーネットより信じられるところがちょっとあ
るだろう。速くて幅広い情報を求めるにと
もに、自分の判断できる力を育む必要がこそあ
る。インターネットといわず、新聞や雑誌と
いわず、断片にひとつしか見ないことが危な
いだろう。